

平成20年度 青少年健全育成事業

夢プラン21事業報告書



鳥栖市・夢プラン21実行委員会

はじめに

鳥栖市では、次世代を担う子供たちが地域の支援をうけながら夢をかなえるプロセスを経験することによって、充実感、達成感を得るという形で、健やかな成長を支援すると共に、希薄化する世代間交流や地域交流につなげようと、平成17年度から青少年健全育成事業「夢プラン21」を実施しています。

4年目となる今年は、小・中学生あわせて29件の応募がありました。今回も、夢実現にむけて子ども達の活動をサポートする実施団体として「てだすけ隊」を募集しましたが、団体の応募はなく、今年度事業として行うこととしました「モザイクアートをつくりたい」は、夢プラン21実行委員会が製作の各段階で、各方面に応援を依頼しながら、進めてまいりました。

この冊子は、その活動報告をまとめたもので、青少年健全育成への取り組みや、世代間交流、地域間交流の活性化に向けて活動する方々の参考にしていただいて、「みんなで築く市民協働のまちづくり」へとつながっていく足掛かりになることを願います。

目 次

	ページ
1. 青少年育成事業「夢プラン21」事業概要	3
2. 夢プラン21実行委員会審査経過	4
3. 採用された夢.....	4
4. 実施経過総括.....	4
5. 夢プラン21「モザイクアートを作りたい」事業経過概要.....	5
6. 夢プラン21事業を終えて.....	12
7. 資料	
(ア) 夢プラン21「てだすけ隊」募集	
(イ) 夢プラン21実行委員会概念図	
(ウ) 夢プラン21実行委員会委員名簿	
8. 実績報告書(写真集)	

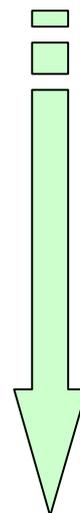
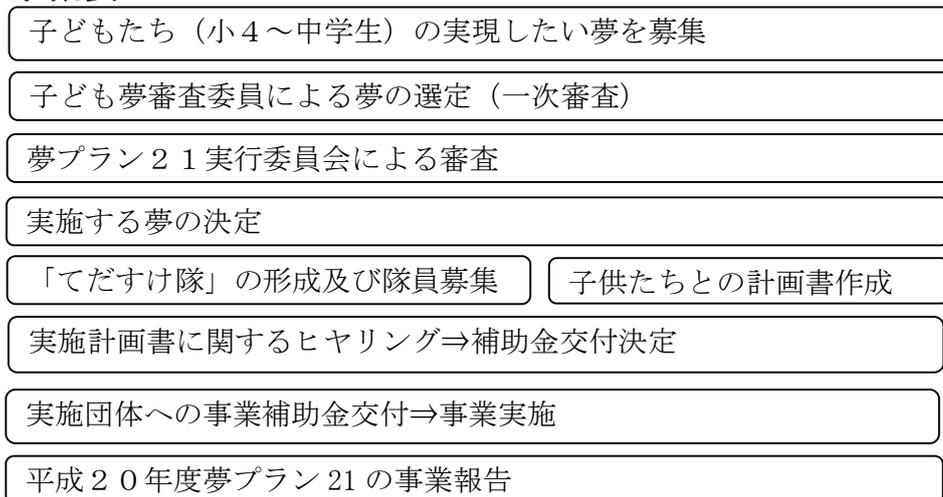
青少年健全育成事業『夢プラン21』20年度事業概要

■ 趣旨

次世代を担う子供たちが地域の人々の支援を受けながら子供たちの「夢」を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、健やかな成長を支援するとともに、この事業により希薄化する世代間交流や地域交流の活性化につなげる。

特に、市民協働の視点から、実施団体を公募し、子供の夢実現のため、市民活動団体等が主体となって支援を行う。

■ 事業概要



主 催：鳥栖市
「夢プラン21実行委員会」→夢の審査決定及び活動支援
子ども夢実現隊+てだすけ隊→事業実施

期 間：平成20年度中
事 業 費：100万円（総額）

■ 夢の選考基準

期 間：原則年度内に実現できるもの
場 所：鳥栖市内で実現できるもの
経 費：100万円を限度に実現できるもの
上記以外の選考基準：

- ・アドバイスを受けながら、子ども達が自主的に考えて実現できるもの
- ・子供たちが集団で参加できるもの
- ・独創的でこれまで実現できていないもの
- ・社会参加により社会の制度や常識を習得できるもの



■ 期待する効果；

- 子どもたちが自分達の夢を実現する過程における社会との関わりを深める充実感や達成感を得ることによる、子ども達の自主性、協調性の育成
- 市民活動団体の社会貢献活動参加の促進と市民活動団体等の育成支援
- 大人と子どもの世代間交流の実現、また、子どもと大人が協力し、夢を実現することによる市民協働によるまちづくりへの意識付け
- 地域や市民活動団体等の参加による地域活動の活性化と市民協働のまちづくりの実現

夢プラン 2 1 実行委員会審査経過

期日	会議等	概要
平成 20 年 3 月 24 日～ 4 月 23 日	“夢” の応募	小学生から 20 件、中学生から 9 件、計 29 件の応募を受付ける。
4 月 30 日	子ども夢審査委員会	子どもの視点で夢を絞り込む。
5 月 2 日	第 1 回実行委員会	子ども夢審査委員の絞り込み結果と実行委員の審査資料を基に実施候補夢の検討。
5 月 23 日	第 2 回実行委員会	今年度実施する夢を 1 件に決定すると共にてだすけ隊は個人応募も広く受け、実施団体の手が上がらなくても夢プラン 21 実行委員会で活動支援をすることとする。
5 月 30 日	「夢プラン 2 1」採用決定通知書交付式 (第 3 回実行委員会)	採用された 1 件の夢を応募した子ども達へ採用決定通知書を交付
6 月 2 日～ 7 月 11 日	「てだすけ隊」の募集	個人応募 1 件、団体協力依頼 3 件
7 月 2 日	実施計画書説明会 (第 4 回実行委員会) 以降活動支援	事業計画の概要説明と子ども夢審査委員との意見交換及び作品素材の写真応募啓発の協力依頼。
12 月 20 日	お披露目セレモニー	BA スタジアムで行われる天皇杯準々決勝試合前にピッチで作品制作の協力者へのお礼の気持ちを伝える式典と作品展示
平成 21 年 3 月 6 日	第 5 回実行委員会	

採用された夢

夢 概 要	学 校	てだすけ隊
【モザイクアートをつくりたい】 “私の好きな鳥栖市一人・自然・街一” のテーマで集めた数千枚の写真で、約 6 m × 9 m のモザイクアートを作り、鳥栖市を盛り上げたいというメッセージを、モザイクアートを見る人々に伝えたい。	香楠中学校 1 年 1 組	個人応募：原 恒子さん 協力団体：鳥栖青年会議所、 九州龍谷短期大学、 パナソニックコミュニケーション(株)

実施経過総括

事業名	子ども夢実現隊	事業実施内容
モザイクアートをつくりたい	佐賀県立 香楠中学校 1 年 1 組	写真撮影ブースを設けたり、夏休みなどに写真撮影活動を行うとともに、市内の小中学校に写真応募を募るなどの写真収集活動を行いました。集まった写真を 8 分割ずつコンピューターにかけ、印刷しました。10 枚の布を 5 枚ずつ縫い合わせました。番号をふり、順番にアイロンプリントしました。最後にアイロンプリントした大きな 2 枚の布を縫い合わせ、BA スタジアムで行われました天皇杯準々決勝試合前におひろめを行いました。

夢プラン2 1 「モザイクアートを作りたい」事業経過概要

製作期間：平成20年6月4日（水）～
 子ども夢実現隊：香楠中学校1年1組
 てだすけ隊：個人応募者
 《協力・支援団体等》九州龍谷短期大学・鳥栖青年会議所・パナソニックコミュニケーションズ株式会社・佐賀県立香楠中学校・鳥栖市

1. 製作工程

作業日程・場所等	作業内容
6月4日（水） ～6月25日（水） 香楠中学校	大きさや素材、製作図柄、伝えたいメッセージ、写真の収集方法など。
6月27日（金） 市内各小・中学校	市内の小中学校に作品のパーツとなる写真の応募の協力依頼。
7月2日（水） 市役所2F会議室	夢プラン2 1 実行委員会の中で事業計画概要の説明と子ども夢審査委員との意見交換会
7月22日（金） 市役所2F会議室	写真撮影ブース設置の小道具やチラシ作成
7月26日（月） BAスタジアム	BAスタジアム北口付近で写真撮影ブースを設け、785枚の写真を撮らせてもらうことができた。
8月3日（日）	河内町周辺や御手洗の滝の写真撮影
8月4日（月） 九州龍谷短期大学	九州龍谷短期大学にて画像処理の仕方について講義を受ける。
8月18日（月）	市内各所の写真撮影
8月19日（日）・21日（木） 香楠会館	布に写真配置の印入れ
9月20日（土） 九州まん祭会場	九州まん祭主催者テントの一角に撮影ブースを設け、祭り来場者に写真を撮らせてもらうことができた。
9月28日（土） 香楠会館	アイロンプリント作業開始
10月 4日（土）5日（日） 18日（土）19日（日） 25日（土） 市役所2F・3F会議室	アイロンプリント作業

作業日程・場所等	作業内容
12月6日(土) 市役所2F会議室	補修作業
12月20日(土) BAスタジアム	完成品お披露目セレモニー及び展示
12月24日(水) ～21年2月末 市民体育館ステージ	作業工程説明パネルと共に展示

反省点

- ・ なかなかみんな部活などで参加できない人が多くて、私もそのうちの一人でした。今思えば、自分達の夢なのに人任せだったのは反省しています。
- ・ 鳥栖まで遠いのであまり参加できなくて、近くの人に負担をかけてしまったと思う。
- ・ 部活と勉強と夢プランの両立が難しかった。
- ・ アイロンプイントの時数名の人が飽きてしまい、作業に来てくれなかった人がいたのに、呼びかけができなかった。
- ・ 夢プランの説明や今までやっていたことを時間をとって説明してほしいかった。
- ・ もうちょっと、どうやって進んでいくかを分かりやすくプリントをつくってほしいかった。
- ・ 活動時間が短かったが、一生懸命やれたし、みんなと協力できた。
- ・ このモザイクアートを作ることで自分達ではできないことを手伝いにきていただいたにも関わらず、お礼やあいさつを一部忘れてたりして相手に対して失礼なことをしてしまったと思いました。

夢プラン21への意見

- ・ なるべく中学生はさけたほうがいいと思います。部活と勉強の両立が難しいからです。(多数意見)だから、来年は小学生の夢をたくさん叶えてあげてください。小学生の頃からたくさん経験したほうがいいと思います。
- ・ 作品を作る場所がもっと広い場所だとよかったと思います。
- ・ 私みたいに夢プラン21を知らない人っていっぱいいると思うので、もっともっと広めてほしいです。
- ・ 夢を叶えたくて応募してるけど、かなわなかったら、「なぜ？」と疑問符が頭の上に多数浮かびます。もし、応募用紙をその人に返し、その紙に「こういうことで採用できませんでした。次もまた応募よろしくお願ひします」などと書いてあるほうが、次また応募しようと思えると思います。

モザイクアートに取り組んで

最初にとっても楽しかったです。

みんなで大きな大きなモザイクアートの小さな 1 ピースになる写真を集めたときの暑さ、背景の色を調節するための色つきの板を持っていたときの重さ、「夢プラン 2 1 へのご協力お願いします。」と声をはりあげて呼びかけたときのみんなの視線…、とってもいい思い出になっています。サッカーのサポーターの方々や九州まん祭に来ていて写真を撮らせてくれた方々にとっても感謝しています。

写真を集めた後の布の目印付けでは気の遠くなるような単純で難しい作業をずっとこのままネバーエンディング?と置いていたけれど意外とあっさり終わったので、みんなの力やてだすけ隊の方々の力をあらためて実感しました。

最後のアイロンプリントでは、「目印のほうが大変と思っていたけど、こっちのほうがすごく大変」と思いました。自分の体重を精一杯かけてアイロンをかけるけれど全然くっつかなくて手首がいたくなるぐらいずっとそれを続けていて「もうヤダ」と言いつつみんなと一緒にがんばって完成することができました。一生懸命がんばりすぎてたたみをこがしてしまったこともいい思い出で私たちががんばったあかしだと思います。夢プランをやってみて私はみんなの絆がすごく強くなったと思います。それと感謝の気持ちでいっぱいです。市役所の方々、てだすけ隊の方々本当にありがとうございました。

写真を撮りに行ったり集めたりする時、なかなか集まらないときがあり、どうなるだろうと心配になることもありました。アイロンプリントの時も地味な作業で疲れたりやる気をなくした子も何人もいたけど、パナソニックコミュニケーションズ(株)の方々や九州龍谷短期大学の方々が手伝いに来てくださったので、無事に完成することができ、とても感謝しているし、応募したときに書いた「クラスの絆を深めたい」と言う目標をモザイクアートを通して達成できたと思います。みんな時間がない中、土日とアイロンプリントをしに来たり、一人一人自分のできることを一生懸命やってくれてとてもいい思い出になりました。

この夢プランで協力の大切さを感じました。「何を」「どんな材料で」「どこで」「いつ」など色々なことをクラスのみんなで意見を出し合い、それを実行委員の人達がまとめ、そんなことの繰り返しで計画がどんどん出来上がりました。出来上がった計画は、ちゃんとみんなの意見がまとめられていてすごいなあと思いました。

モザイクアートを作るのは大変で授業や土日がつぶれたりしたけど友達と一緒に何かを作ると言うのは、すごく楽しくて苦になりませんでした。作業場所が市役所や学校だったり、てだすけ隊の人達、写真集めに協力してくれた人達がたくさんいたのを見てこの夢プランにはすごく大勢の人が協力してくれたんだなあと思いました。そういう大勢の人達が協力してくれたから、モザイクアートをちゃんと完成できたんだと思います。この夢プランで学んだことをこれからの学校生活で生かしていきたいです。

香楠中学校は、佐賀県内の色々な小学校から入ってきています。夢プランを取り組んでいくうちにクラスのみんなとしゃべるようになって「絆」という言葉が作業を楽しんでいるみんなの笑顔の後ろに見えたような気がします。鳥栖市のアピールはできたのかは、わかりませんが、私たちは満足です。「夢は叶うものじゃなくて叶えるもの」その言葉の意味が分かった気がします。

てだすけ隊の皆さんから気軽に話しかけていただいて楽しく会話ができたり、作業を進めることができました。この夢プラン21を経験したことで人に対する感謝の気持ち、会話の楽しさなどたくさん学びました。ここで学んだことは、どの場面でも活用できることなので、使えるときには実践し生活に役立てたいです。

これまで市内に写真を撮りに行ったり、BA スタジアムで写真協力をお願いしたり、たくさん「モザイクアート」の完成にむけて取り組んできましたが、応募して採用されるまでは、こんなにも大変な作業になるとは思っていませんでした。

けれど、大変だった分この「モザイクアート」で得たものはとても大きいです。今までひとつのものをみんなできちんと完成するまで作り上げたことがなかった私達。そんな私達に「モザイクアート」は、協力することの大切さや私たちを支えてくれている人達は本当に多くてその人達無しでは、私たちの夢はかなわなかったということなど。他にもたくさん「モザイクアート」で数え切れないほど大切なものを得ることができました。

4月にみんなが夢プランと出会い、10月に完成するまで時にはもめごとがあったりもしましたが、クラス全員でひとつのものを創りあげた。本当に今は達成感でいっぱいです。

実行委員長をはじめとする私達1年1組で「モザイクアート」を完成することができたことは、この中学校生活でとてもとても大切な思い出のひとつになりました。

モザイクアートでとてもきつかったことは、アイロンプリントです。僕は、ほぼ土日は市役所に行っていました。1ヶ所つける場所を間違えるとできなくなるので、不安でいっぱいでした。アイロンは体重をかけてしたので、とてもきつくなり、どんどんやる気がなくなってきたけど、半分をはがしはじめると、きちんとモザイクアートになっていました。そのときすごくきれいだなと思いました。僕は、早く全部見たかったので、やる気が出ました。最後の日は行けなかったけど、やりがいがあったなと思っています。

僕は、この夢プラン21で最後までやりきること、こんなにうれしいんだと思いました。時々やる気をなくしたけど、とてもいい勉強になったし、してよかったなと思います。

最後に、原さん、市役所の方々、九州龍谷短期大学の方々、パナソニックコミュニケーションズの方々、モザイクアートへのご協力ありがとうございました。

一言でまとめると「きつかった」です。部活は行けないし、授業もつぶれるし、「どうして夢プランに応募しちゃったの？」という気になりました。夢プランには、クラスの仲を深めようと言うことで応募しました。はじめは、みんな笑顔で取り組んでいて「楽しいなあ」と思っていました。けれど、途中からみんなの笑顔が消えて、どんどん楽しくなくなりました。「これからどうなるんだろう」と思っていたのですが、完成が近づくにつれてまた最初の頃の気持ちが戻ってきました。みんなで写真を撮りに行って、アイロンをかけて、パソコンを使って印刷して、はさみでふちを切って、布を縫い合わせて、そんなことをしているうちに仲良くなれたと思います。今では、学年で一番仲のよいクラスだと思います。最後のほうでは、みんな、なれた手つきで作業をしていました。今思うと大変だったけれど、とてもいい思い出になりました。香楠中の1年1組でよかったなあと思えます。

今までの頑張りが、絆がこの「モザイクアート」という形にできて本当にうれしいです。今まで私たちの夢の手だすけをしていただいた方にありがとうございます。おつかれさまでした。

夢プラン21のようなとてもお金のかかる行事を始めて自分達の手でできると知ったときは、すごくうれしかったし、その分失敗しないのでできるかなあという不安や緊張もありました。

写真集めるとき、BA スタジアムで写真を撮らせてもらったり、小中学校からもらった写真を見たときは、「私たちは大勢の方々から支えられているんだ」と実感し、心が温かくなりました。

アイロンプリントでは、とにかくドキドキしていました。「ちゃんとできているかなあ」、「写真がずれていたらどうしよう」などたくさんの不安が頭の中になりました。

でも無事にモザイクアートが完成して本当にうれしかったです。また、「もう終わってしまったのか」、という残念な気持ちもあったけど、何ヶ月もかけてみんなががんばってきたかいがあったので、よかったです。

夢プランを通して学んだことは、たくさんあります。縫いあわせやアイロンプリントを手伝ってくれたてだすけ隊の方々や市役所の皆さん、時間をくれた先生、写真集めに協力してくれた人達、一緒に製作してきたみんなに感謝しています。

完成披露セレモニーの感想

今までの総仕上げということで、「ヤッター」といううれしい気持ちと「アーア」という悲しい気持ちが混じっていて、少し気持ち的に複雑な部分がありました。でも、色々な先生や市役所の方々、セレモニー前に会った人達などが「よくがんばったね」「これ自分達でつくったの？すごいねー」とか、私が持っていた写真を見て声をかけてくださって「成功させてやろう！」と思いました。本番はリハーサルとは、少し変わってとまどう場面もありましたけど、よくやれたと思いました。やっぱりクラス全員で完成セレモニーをやりたかったです。

セレモニーの当日僕は、緊張しながらもとても嬉しい気持ちでいました。なぜ嬉しかったかと言うと、自分達がんばって作りあげてきたものが完成したという実感がわいてきていたのと、今までお世話になった方々に感謝できるという思いがあったからです。そして、セレモニー本番では、その気持ちが最高潮に達しました。そして、その時が一番夢プラン21をして「良かった」と思った時でした。

僕は、初めてベストアメニティストadiumに入りました。お客さんがとてもたくさん入っていて完成披露セレモニーのときは、とても緊張しました。でも、このセレモニーでたくさんの人にモザイクアートを見てもらえてよかったです。また、会場の皆さんから拍手をもらったときは嬉しかったです。この夢プランに参加したおかげで、仲間と協力する大切さを学びました。

今までがんばって作ってきたのでセレモニーが楽しみでした。でも、本番直前は、ファンの人達に「どうでもいい」とか「見たくない」とか思われないう不安でした。本番では、ファンの人達がたいこをたたいて盛り上げてくださったり、イスから立ち上がってくださったりして嬉しかったです。緊張もしないで、ただ、「嬉しい！」、「楽しい！」、「ありがとう！！」と言う気持ちでいっぱいでした。セレモニーが終わり、スタジアムの外で完成品を見たときは、感動しました。みんなで力を合わせれば、こんなこともできるんだなああと改めて感じました。

「完成披露セレモニー」無事に終わってよかったです。とても緊張したけれど、スタジアムのピッチを歩く達成感はとてもすがすがしかったです。僕達がんばってきた夢プラン21ももう終わりかと思うと何ヶ月もがんばっただけに少しさびしい気分です。セレモニーは、その何ヶ月ものがんばりをたくさんの人に披露する場でした。リハーサルのときはまだ応援に来ている人もいないので、緊張などありませんでした。しかし、本番まで残りわずかの時、待機しているとサッカー選手や偉い人がたくさんいて一気に緊張がわいてきました。そして、本番が来ると今までのがんばりをバネにしてピッチを堂々と歩きました。

私はお礼の言葉をのべました。練習したときはマイクが入っていなかったけど、本番はマイクが入っていて読むと……すごく難しくて読めませんでした。でも、笑いながら観客の皆さんが聞いてくださったので、うれしかったです。観客の皆さんからの声援を浴びたときは、感動しました。

セレモニーが終わったときは、解放感と同時にもうこんなことはしないんだろうなと思って泣きそうになりました。ここまでやってよかったなあと思いました。

セレモニー直前に正面ゲートで待っているときから、少しドキドキしていました。そして、リハーサルのためにピッチに入ってから、さらに緊張してしまいました。そして、本番になって入場しているとき、大きいモニターに写っている完成したモザイクアートを見て、改めて「やっと完成したんだなあ」って実感しました。そして、退場しているときは、スタジアムの中の観客の皆さんがたくさん拍手とかけ声をしてくださったときに緊張が抜けて「ホッ」としました。

この完成セレモニーに出て今までやってきてよかったなあと思いました。

僕にとって初のフィールド入りでとても緊張しました。記念品と色紙を渡す係になっていたのですが、それを持つと手が震え、冷や汗が出てきました。でも、本番は無事に渡すことができ良かったです。その後、参加者全員で作品を持ってこの大観衆から盛大な拍手をいただきながら、フィールド内を歩きました。そして、スタンドからは、「よくがんばったね」と声をかけていただき、とてもうれしく思いました。その後、1月15日号の市報を見ると表紙に大きく取り上げていただきました。盛大にこの完成セレモニーを行えてよかったなあと思います。よい思い出になりました。

夢プラン 21 事業を終えて

今年で「夢プラン 21」も 4 年目を迎えることができました。

「夢プラン 21」実施するにあたって、過去 3 回の実施した内容を顧みて、

① 夢の選定段階で子どもの視点を取り入れること

② 実施団体となる手助け隊の応募がなくても実現可能であることを反省材料にしてスタートいたしました。

まず、夢の選定の段階で、子どもの視点を取り入れるため、市内の小中学校から各 1 名の子ども夢審査委員の選出をお願いして夢選定会議を開催し、その内容も含め、実行委員会で本年度実施する「夢」を決定することにしました。その際、実施団体の応募がなくても実行委員会で子ども達の夢実現に向けての活動を支援しながら進めていくこととしました。

今年選定した「モザイクアートを作りたい」は、佐賀県立香楠中学校 1 年 1 組の子ども達が応募した「夢」でしたが、子ども夢審査委員が候補に上げていた「夢」のうちのひとつでもありました。

以前テレビ番組でたくさんの写真を並べて遠くから見るとひとつの作品になっているのを見て感動し、私たちもやってみたいという意見が採用され、『クラスの絆を深めよう』とクラス応募されたものでした。

子ども達の計画は、鳥栖市の風景や思い出の写真を集めて作品を作ることで、つながりを伝え、鳥栖をアピールしたいという思いがつまっていました。

今年は、個人応募、技術的支援協力や作業の学生ボランティア、社員ボランティアの派遣、イベントの中で写真撮影活動や PR 活動の場の提供、写真の募集、撮影協力など様々な形で支援を受けながら、実現へとつながっていきました。

『本当にできるのだろうか?』という不安を抱えながら、写真収集活動、アイロンプリント、縫い合わせ作業と大変で地道な作業を積み重ねていくうちに、小さな写真の集まりが縦 6.6m・横 8m の大作になり、この大作を支えた 6,080 枚以上の写真収集活動の努力と多くの友達の強い「夢実現達成」そのものでした。

子ども達の感想は、『完成までの作業がつかったけど、いろいろな人の協力を得て頑張ることができた』ことに対する感謝の気持ちと『頑張ってよかった』という達成感に満ち溢れていました。

特に BA スタジアムで開催された「天皇杯」の試合前の大観衆の前での完成披露セレモニーでは、子ども達の緊張と感激は大変なものでしたが、これまで多くのご支援いただいた皆さんに感謝の気持ちを表すことができました。

さらには退場の際、観客の皆さんから「すごいね」「がんばったね」との声とともに、たくさんの拍手をいただき、貴重な体験ができました。

中学生は、部活や習い事などと忙しくて、両立と言う壁にぶつかります。しかし、それだけにいろいろな人に協力してもらいながら、ひとつの目標に向かってクラスで取り組む体験は、ひとりひとりの力は小さくともお互い協力することによる力は巨大な力となり、このようなに大きな成果が出るのだということが深く胸に刻まれたことでしょう。本当に良くがんばったと思います。

「夢プラン 21」は今回で 4 回目となりますが、毎年色々な形で実を結び、多く

の人に知られ、愛され、協力の輪も大きくなり、市民に微笑み、勇気を与えるこの計画は、単に子ども達だけではなく、関った多くの大人や企業、地域の活気に寄与するものと確信いたしております。

今年は、一昨年前の「スタジアムを満員にしたい」の数値目標2万人も達成しましたし、「夢」をかなえる「夢プラン 21」は今後も勇気と感動を与えることであろう。

最後になりましたが、この事業にご協力いただきました多くの企業・団体・ボランティアの方々・市民の皆様に対しこの場をかりましてお礼申し上げます。また、鳥栖市・事務局としてお世話いただきました市民協働推進課の方々には大変なご苦勞をおかけしましたこと、こころから感謝お礼申し上げます。

夢プラン 21 実行委員会
会長 小石 正 明

資 料

「てだすけ隊」募集概要

本市では、次世代を担う子どもたちが地域の人々の支援を受けながら子どもたちの夢を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流の活性化につなげるため、青少年健全育成事業「夢プラン21」を平成17年から実施しています。

平成19年度から、更なる世代間交流や市民協働の推進を図る観点から、夢を実現していくプロセスにおいて夢を応募した子ども達と市民活動団体等の大人達「てだすけ隊」が協力して実施していくスタイルへと変更しています。



てだすけ隊： 夢プラン21の主旨をふまえ、子ども達が主体的に夢の実現に取り組めるようその活動を支援する団体で、実質的な事業実施団体（事業内容：計画・準備・実現段階においてアドバイスや具体的な活動を行い、子どもたちと協力して夢実現を図る）

夢プラン21

実行委員会： 子ども達から応募された夢の審査、及び実施団体「てだすけ隊」の選定を行い、本年度夢プラン21事業として実施する事業を決定し、実施団体に補助金を交付する。

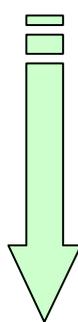
子ども

夢実現隊： 夢をかなえることを共通の目標とし、実現するために協力して計画・準備・実現していく子ども達の総称。



■ 事業概要

● スケジュール

- 
- ・子ども達（小4～中学生）の実現したい夢を募集（4月23日締め切り）
 - ・子ども夢審査委員による候補夢絞込み
 - ・夢プラン21実行委員会による実施夢の選考（1件または2件の夢候補を選出）
 - ・実施候補となる夢の公表及び実施団体「てだすけ隊」の募集
 - ・てだすけ隊応募団体（大人）が、夢応募者（子供）からの聞き取りを基に作成した実施計画のプレゼンテーション
 - ・20年度事業決定、てだすけ隊への補助金交付
 - ・子ども夢実現隊＋てだすけ隊による事業実施
 - ・20年度夢プラン21事業報告

◎ 夢の選考及び実施事業の決定→夢プラン21実行委員会

◎ 事業主体→「子ども夢実現隊」＝夢を応募した子ども達

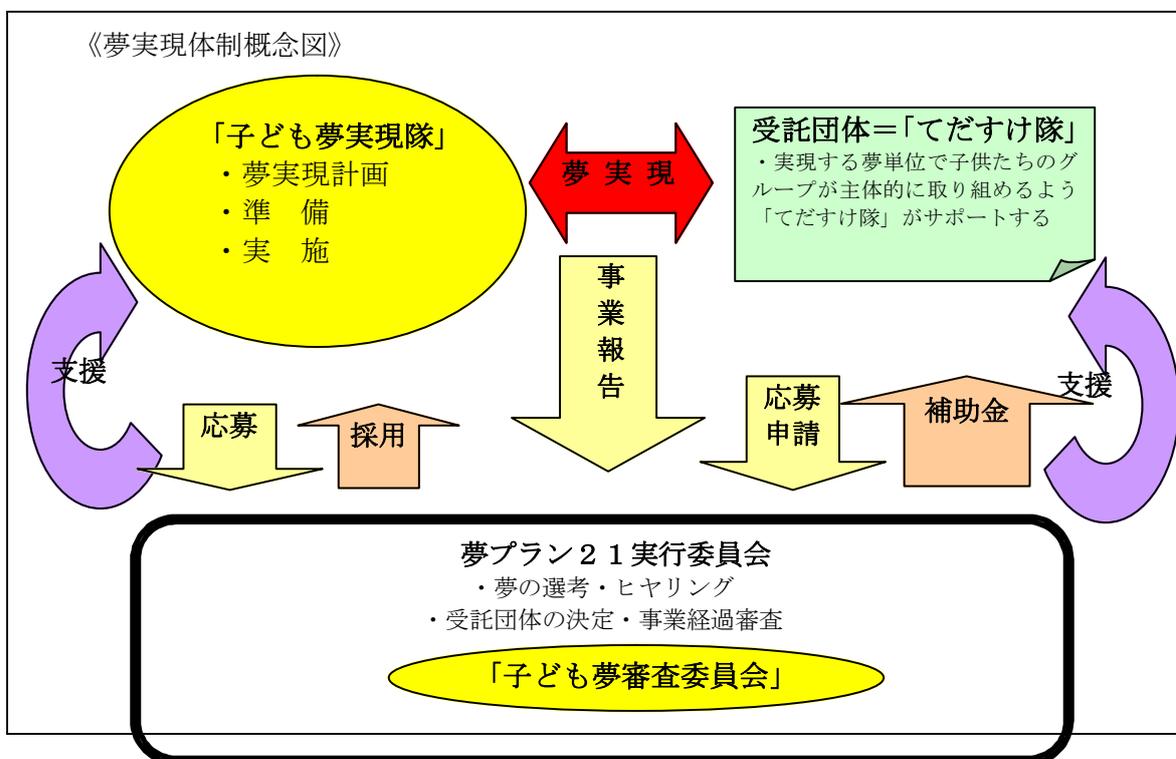
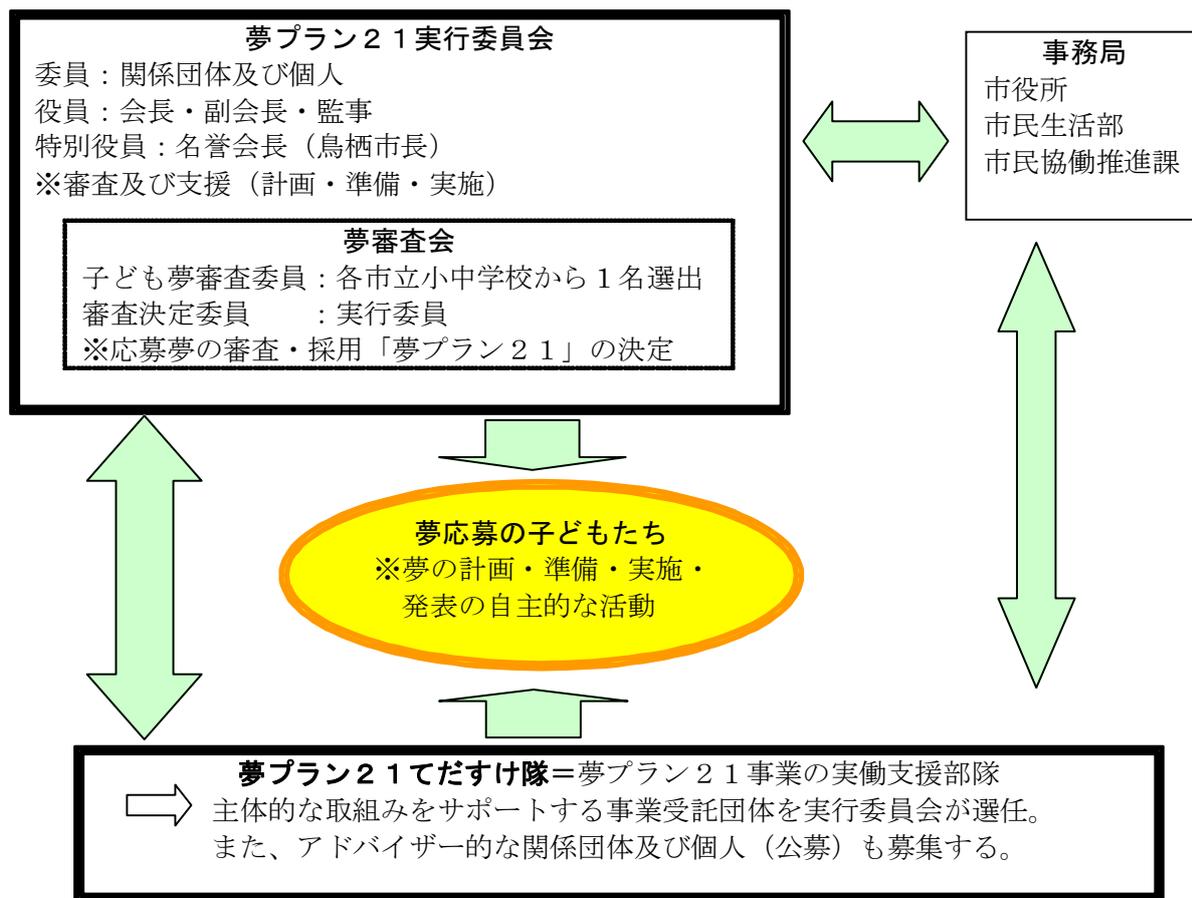
◎ 事業支援→「てだすけ隊」＝大人の応援隊（実質的な事業実施団体）

🚩 期 間：平成20年度中

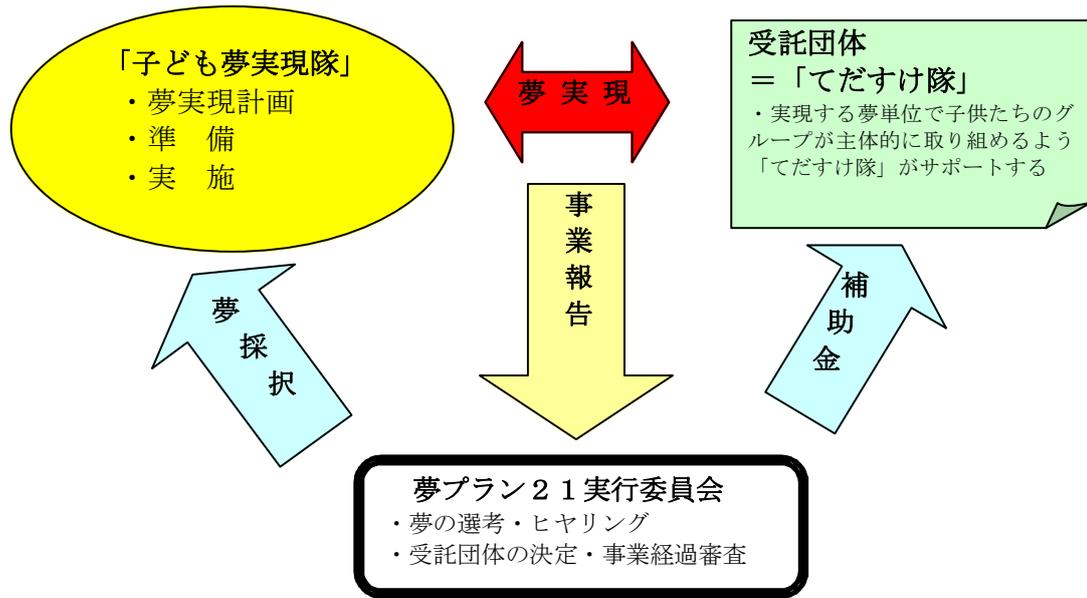
🚩 事業費：100万円（総額）

※ただし、実行委員会事業費を含みます。

夢プラン21 実行委員会概念図



《夢実現体制概念図》



子どもの夢をかなえる「夢プラン21」

夢プラン21 実行委員会委員名簿

区 分	所 属 及 び 役 職	氏 名
関係団体	鳥栖市区長連合会会長	小 石 正 明
	鳥栖青年会議所理事長	西 依 義 規
	鳥栖市子どもクラブ連絡協議会会長	畠 野 治
	鳥栖地区小中学校PTA連合会会長	大 石 文 明
	鳥栖市校長会（田代小学校長）	中 川 原 博
	NPO法人市村自然塾九州塾母	榎 崎 タキコ
	子育て支援総合コーディネーター	吉 田 眞由美

夢プラン21

実績報告書(写真集)

※ 「モザイクアートを作りたい」

「モザイクアートを作りたい」



